

2015年3月9日

報道関係各位

バイク王 バイクライフ研究所

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表！ 『ヤマハ・MT-09』が首位を獲得！

対象期間 2014年9月～11月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2014年9月～11月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。11回目となる今回は、初登場の「ヤマハ・MT-09」がいきなり首位を獲得となりました！

◇『ヤマハ・MT-09』が首位を獲得!! 初登場で首位を獲得！

◇『カワサキ・ZR1200 DAEG』は第7回以来
のランク入りで、2位と健闘

◇ ランキングの常連となっている
『カワサキ・Z250』は前回同様3位を死守



※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：矢部、平見

TEL 03-6803-8867

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：淀瀬、岩岡

TEL 03-6863-3388 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	前回	回数	メーカー・車種	リセール・プライス
1	-	初	ヤマハ・MT-09	87.6pt
2	-	4	カワサキ・ZRX1200 DAEG	83.1pt
3	3	5	カワサキ・Z250	82.9pt
4	-	初	ホンダ・PCX	82.4pt
5	-	初	ヤマハ・MT-09 ABS	82.0pt
6	1	5	カワサキ・Ninja250	81.8pt
7	-	初	ヤマハ・マジスティ S XC155	75.93pt
8	7	3	カワサキ・Ninja 250 ABS Special Edition	75.89pt
9	10	2	ホンダ・クロスカブ	75.8pt
10	-	初	ホンダ・Dunk	75.0pt

◇今回対象期間 2014年9月～11月、前回対象期間 2014年6月～8月

11回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ヤマハ・MT-09』が2位に4.5pt差を付け首位に輝きました。

『ヤマハ・MT-09』は、2013年の東京モーターショーなどで参考出品された当時から、注目されていたモデルのひとつです。昨年4月に発売されて以降、ネイキッドとスーパーモタードの特徴をあわせ持ったような個性的なデザインなどから高い人気を博しています。

新設計となる直列3気筒エンジンは、ライダーがバイクを意のままに操ることが出来るよう設計されており、イメージ通りのライディングを楽しむことができます。さらに、好みの走行状況に合わせた3つの走行モードが選択可能な『D-MODE』を搭載していることに加え、装備重量188kgという軽量化が成されているため、扱いやすいモデルと言えます。

本ランキング開始以降、ヤマハから初の首位獲得となった『MT-09』。5位には、同じく初登場の『ヤマハ・MT-09 ABS』もランクインしており、今後ランキングの常連となっていくことが期待されます。

今回は、ランキング常連である『カワサキ・ZRX1200DAEG』『カワサキ・Z250』がそれぞれ第2位・第3位となるなど、カワサキの人気車種が安定した人気を示す一方、初登場のモデルが5車種もランクインするなど、新たな動きも見えてきた結果となりました。

また、本ランキングとしては久々に大型二輪クラスが1位、2位に輝いたことから、これからのツーリングシーズン本番に向け、大型ツアラーモデルなどのランクインが期待されます。

3月は、『大阪モーターサイクルショー』と『東京モーターサイクルショー』が開催されます。ここで発表されたモデルが、今後の本ランキングにどのような影響をもたらすのでしょうか。

引き続き、『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・PCX	82.4pt
2	ホンダ・クロスカブ	75.8pt
3	ホンダ・Dunk	75.0pt
4	ホンダ・グロム	74.8pt
5	ホンダ・リード125	74.0pt

バイク王 バイクライフ研究所

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z250	82.9pt
2	カワサキ・Ninja250	81.8pt
3	ヤマハ・マジスティ S XC155	75.93pt
4	カワサキ・Ninja 250 ABS Special Edition	75.89pt
5	ヤマハ・トリッカー	74.1pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・SR400	68.6pt
2	ホンダ・CBR400R	66.5pt
3	ヤマハ・ドラッグスター400	65.2pt
4	ヤマハ・ドラッグスタークラシック 400	63.1pt
5	ホンダ・400X	61.5pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・MT-09	87.6pt
2	カワサキ・ZR1200 DAEG	83.1pt
3	ヤマハ・MT-09 ABS	82.0pt
4	ヤマハ・TMAX530 ABS	75.4pt
5	ホンダ・CBR1000RR	73.0pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときのプライス(=価格)を指します。

2015年2月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間12.9万台の取り扱い台数を誇るバイク買取専門店『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2015年2月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2015年2月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史